

**鳥取環境大学 プロジェクト研究（2013 年度前期）**  
**地域密着の「道路愛称」の活用方法を考える**

■ **研究グループ・メンバー：**

鳥取環境大学二年生 貝原啓右＋斉藤一步＋田中袖帆＋石飛賢二＋小椋実紗  
＋元田有紀＋山本晃平

鳥取環境大学一年生 浅井真由＋曾田将詩＋寺本有希＋藤川友香＋金谷友輔  
＋平川成吾＋渡邊翔太

■ **協力：** 若葉台地区まちづくり協議会長 中林興太郎、若葉台北 3 丁目 有田吉克

■ **アドバイザー：** 環境学部 張漢賢（鳥取県鳥取市若葉台北 1-1-1、鳥取環境大学教育研究棟 4416 室、電話・FAX 0857-38-6780、shyan@kankyo-u.ac.jp）

■ **研究の概要・目標：** 大学が立地している「つのいニュータウン（若葉台）」は、地形や道路の形状により、口頭による道案内が難しい。この道案内をよりしやすくするために、一昨年に地域住民が「道路愛称を付ける」活動を展開し、「道路愛称募集」を実行した。寄せられた多数の応募案から、選考会を通して主要道路 4 本に愛称が決められた（わかば中央通り、山の手通り、郵便局通り、わかば産業通り）。現在、ニュータウン入り口の県道に、正式な道路看板が設置されている。愛称を付けようという発案から、道路看板の設置まで、地域住民が多大な努力を付した。地域住民や市民の日常生活において、これらの道路愛称を使っていたことが理想であり、その認知普及、活用方法の考案が求められている。本研究では、大学生の色々な着眼点からこの「道路愛称」の活用方法を探る。

■ **研究実施期間：** 2013 年 4 月 11 日～7 月 11 日

■ **研究成果発表会：** 2013 年 7 月 20 日（土） 14:00～14:45 鳥取環境大学 15 講義室

■ **発表内容**

- (1) 「若葉台地区道路愛称意識調査」
- (2) 「他地域の道路愛称の取り組みについて」
- (3) 「若葉台地区道路愛称の認知度アップについて」

## ■ 主要活動:

- 2013年4月11日           メンバー集合。研究の概要・目的を理解し、若葉台地区、道路愛称に関するこれまでの取り組みについて学習する。
- 4月18日                若葉台地区まちづくり協議会中林会長ご挨拶、若葉台のまちづくり活動を紹介する。地区公民館を訪れ、愛称をもつ道路を中心に歩く。
- 4月25日                若葉台北3丁目うぐいす会館にて、北3丁目町内会佐田会長、地域住民轟さん、有田さんと情報交換する。
- 5月2日                 グループ・メンバーを中心にワークショップを実施する。若葉台の道路愛称について、各自に問題提起、研究課題を抽出し、情報を共有する。
- 5月9日                 ワークショップで提案された課題を整理する。学生が研究テーマを選択し、研究グループを決める。
- ・道路愛称は若葉台地区住民にどれくらい認識されているか
  - ・若葉台地区以外の地域にどのような道路愛称の取組があるか
  - ・道路愛称の認知度をアップする方法を考える
- 5月16日以降           各グループが研究方法、進み方を検討し、調査を進める。
- 6月15日～30日         若葉台地区住民に、道路愛称意識調査を実施する。
- 7月4日                 成果まとめ
- 7月11日                発表リハーサル
- 7月20日                研究成果発表会（14:00～14:45、鳥取環境大学 15 講義室）

# 若葉台地区道路愛称

若葉台地区住民の皆様の応募作品から愛称を決定いたしました



地図作成： 奥村俊彰（若葉台南 6 丁目、鳥取環境大学大学院生）、「道路愛称決定報告」、2011. 10。デジタルファイル：若葉台地区公民館ホームページ、2013. 3

## 2013年 鳥取環境大学 プロジェクト研究『地域密着の「道路愛称」を考える』 若葉台道路愛称意識調査報告

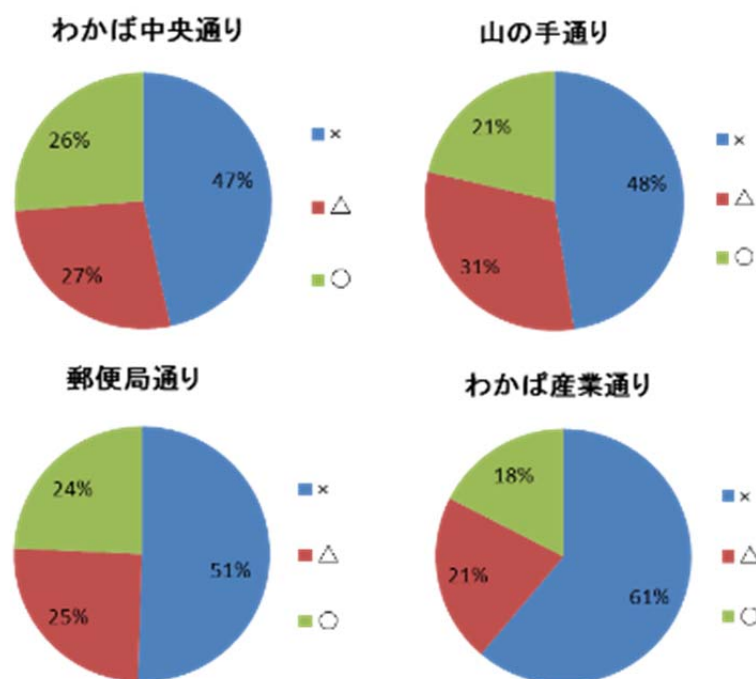
グループ代表： 鳥取環境大学環境学部環境学科 曾田将詩

研究アドバイザー： 鳥取環境大学教授 張漢賢

協働実施： 若葉台地区まちづくり協議会会長 中林興太郎

- 調査の目的：(1)若葉台地区住民の道路愛称への認知度の把握、(2)道路愛称をより広く知ってもらうため、(3)道路愛称を活用したまちづくり活動を探るため
- 方法：アンケート調査
- 調査対象/回答者：若葉台地区住民
- 配布と回収方法： 配布) 鳥取環境大学→まちづくり協議会→各町内会長→住民  
回収) 住民→各町内会長→まちづくり協議会→鳥取環境大学
- 配布と回収部数： 配布) 15部/町内×8町内=120部、回収) 103部、回収率 86%
- 調査実施期間：2013年6月15日～30日
- アンケート調査票の作成にあたって：  
鳥取環境大学が発案し、まちづくり協議会・地域住民が内容をチェックし調整する。

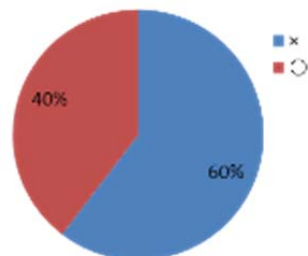
(1) 若葉台の道路で、次のような愛称がついていることを知っていますか？（道路愛称のマ  
ップ参照） よく知っている = ○ 全く知らない = × なんとなく知っている = △



若葉台地区を縦貫する「わかば中央通り」の認知度が最も高い。それでも、4割以上の住民がその愛称を知らない。

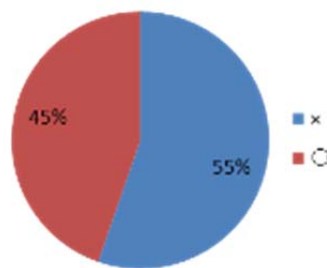
「わかば産業通り」沿いに住民がほとんどいないためか認知度が最も低い。

- (2) ニュータウンの入り口に、写真に示しているような道路愛称の看板が設置されています。ご存じですか？ 知っている = ○    知らない = ×



設置時期:2012年3月

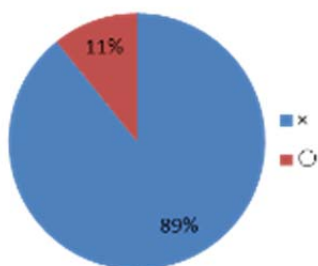
- (3) ニュータウンの中で、下の写真に示しているような、愛称を使った道路マップがあります。ご存じですか？ 知っている = ○    知らない = ×



設置時期:2013年3月

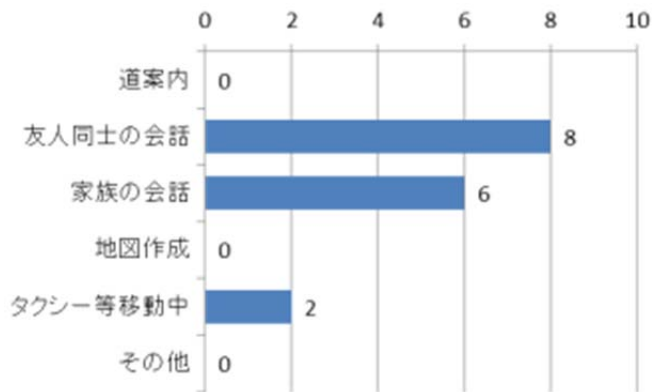
問(2)の道路標識の設置時期が(3)より古いにもかかわらず、認知度が低い。住民の目に触れにくいことが原因と考えられる。

- (4) この道路愛称を日常会話のなかに使ったことがありますか？ ある = ○    ない = ×



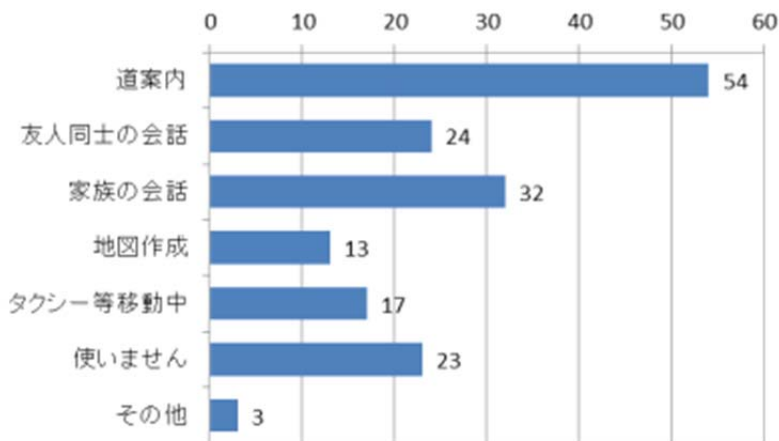
日常会話に利用されたのは11%に過ぎず、普及しているとは言い難い。

(5) (4)で「あります」と答えた方のみお答えください。道路愛称はどのような場面で使われていますか？(複数回答可)



道案内のような非日常的な状況よりも、友人や家族同士の日常的な会話の中で使われる確率が高い。

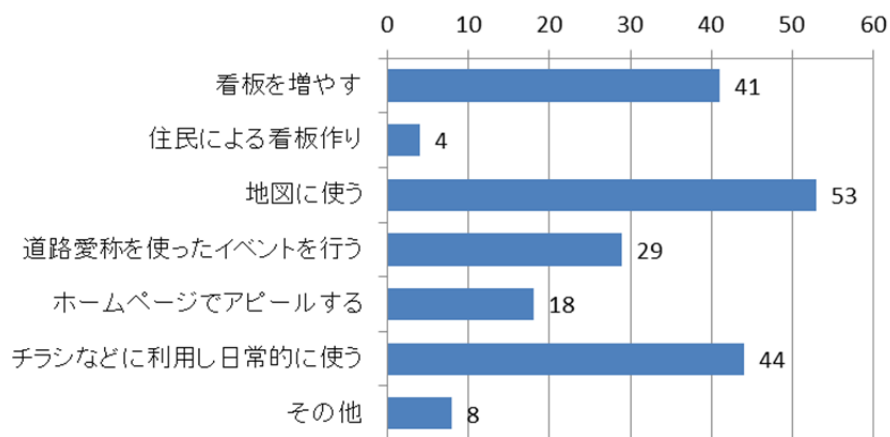
(6) 道路愛称を今後どのように使っていきたいですか？(複数回答可)



その他 (3人) :

- ・町内会の会合など
- ・よくわかる処に看板は最低3か所必要
- ・日常会話の中で使いたい

(7) 道路愛称の知名度を上げるためにどのような方法があると思いますか？



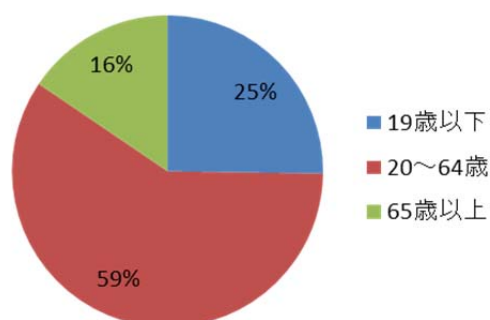
その他（8人）：

- 愛称を熟知している人が、積極的に日常会話に使う
- 個々の道路に看板を設置する（複数）
- 知名度上げなくてもよい。不必要
- わからない
- 人の集客できる場所などにポスターなどを張る
- 回覧板のプリント等にも地図があればできるだけ愛称を載せてもらう
- イメージカラーなどによるイメージ的認知
- カラー道路

**(8) (7)で自分が協力できる項目があればお答えください。**

- 会話の中で使用して広める
- 道路愛称を使ったイベントを行う
- 学校等の連絡もしくは、緊急連絡用の地図などに書く
- 道路愛称を使ったイベントを行う
- できるだけ愛称を使うようにする
- イベントへの協力
- 日常会話で利用したい
- 住民による看板作り
- 日々道路愛称を使うよう心がけます
- チラシなどに利用し日常的に使う
- 地図に使う。チラシなどに利用し日常的に使う
- チラシなどに利用し日常的に使う
- イベントがあればできるだけ参加したい
- 車で通行中でも見やすい大きさのもの
- イベントへの参加
- 地図に使う
- 日常会話の中で使っていきたい

**(9) 回答者の年齢層**



全体的に、分布範囲が広い20～64歳の方々がやはり多い。

年齢層別でみた結果は「考察2」を参照して下さい。

### 考察1 一町内別道路愛称の認知度

各町内の「よく知っている」回答×4道路 / 4道路に対する回答数の合計

南3丁目：4道路に対し合計56回答のうち、「よく知っている」は28回答。以下同：

南3丁目	28/56	北4丁目	22/56	北3丁目	22/60
北2丁目	9/60	南2丁目	5/60	南5丁目	4/60
南6丁目	4/60				

地域住民の道路愛称に対する認知度は、南3丁目、北4丁目、北3丁目が高く、南2丁目、南5丁目、南6丁目は比較的に低い。

1. 道路愛称に対する認知度は地区の北が高い、南が低いという地域差がみられる。

道路愛称に対し認知度が高い地域は、町内に接している道路の愛称だけでなく、離れた場所にある道路の愛称も知っている。道路愛称を通して、他地域への関心がつながっている。

2. 自地域の道路愛称への認知度を高めることにより、他地域への関心度も高められる？

### 考察2 一年齢層別道路愛称の認知度

よく知っている= 1p、 何となく知っている= 0.5p、 全く知らない= 0p

年齢層別の合計ポイントを回答者数で割る：

19歳以下 26人	合計 25ポイント：	$25/26 = 0.9$
20～64歳 61人	合計 80ポイント：	$80/61 = 1.3$
65歳以上 16人	合計 39ポイント：	$39/16 = 2.4$
<u>19歳以下：20～64歳：65歳以上 = 0.9：1.3：2.4</u>		

3. 65歳以上の高齢者層の方々は道路愛称に対し比較的に認知度が高い。19歳以下の若い年齢層の方々には認知度が低い。

### 考察3 一町内別道路愛称の関心度

考察1では、居住地域内道路の愛称への「認知度」と他地域への「関心度」の連動性について予察を加えた。ここで、「協力できる項目」の回答数が多い方を関心度が高いと判断する場合、各町内の状況は次のようになる。

北4丁目 8名	南3丁目 3名	北3丁目 2名	南6丁目 2名
北2丁目 1名	南2丁目 1名		

4. 北4丁目の関心度は最も高い。回答は「認知度」にほぼ比例している。



## まとめ

- 1) 回答者の半分近くが道路愛称の存在を知らない。よく知っている回答者は 4 分の 1 以下。日常生活の中で道路愛称を使っている人は 11%程度であり、全体として認知度が高いと言えない。
- 2) 道案内、タクシー等移動中、地図作成、友人・家族との会話などに使いたいという人が多い中、使わないと回答した人が 14%いた。これから使いたいという人が多い方である。
- 3) 関心度に地域の偏りがある。若い人の中には認知度が低い。

## これからの取り組み(アンケート調査より)

- (1) 普及活動にあたって、地域別、認知度が低いところや若い世代を中心に行うべきである。
  - (2) 住民の自地域内(例:町内)道路の愛称への認知度アップを通して、他地域への関心度を高めることが期待したい。
  - (3) 道路愛称は、道案内のような非日常的な状況よりも、友人や家族同士の日常的な会話の中で使われる確率が高い。「日常的」利用の促進方法について、住民の回答から次のようなヒントが得られた。
    - 愛称を熟知している人が、積極的に日常会話に使う
    - 学校等の連絡もしくは、緊急連絡用の地図などに書く
    - 道路愛称を使ったイベントを行う
    - 地図に使う。チラシなどに利用し日常的に使う
    - 車で通行中でも見やすい大きさのもの(看板の設置)
-

## 学生からみた若葉台地区「道路愛称」の現状と課題(要約版)

### —道路愛称の認知度アップについて—

田中袖帆＋寺本有希＋藤川友香＋渡邊翔太＋金谷友輔

#### (1) 道路愛称の看板が小さい

環境大学入り口、若葉台入り口の両交差点に、「わかば中央通り」の道路標識がある。歩行の場合でも、近く寄れなければ視認ができない。自動車に乗っている場合、看板の存在が気付きにくい。自動車利用者のためには、より大きな看板が必要。

『これが若葉台交差点に設置された愛称の標識ですが、とても小さいのがわかります。歩いていても言われるまで気づかず、小さすぎて車からも文字が読めません。』

※口頭発表：『 』

#### (2) ニュータウン内に道路愛称の看板がない

「わかば中央通り」の看板は、ニュータウンの入り口に設置してあるに対し、ニュータウンの中には、「わかば中央通り」をはじめ、「山の手通り」、「郵便局通り」、「わかば産業通り」の看板は設置されていない。道路沿いや交差点などに看板がなければ、道路愛称のオリエンテーション機能が発揮しにくい。道路愛称の認知度アップ、普及にあたって、看板の設置が急務と考える。



写真①



上)写真② 下)写真③



写真④

- ① わかば中央通り
- ② 山の手通り
- ③ 郵便局通り
- ④ わかば産業通り

『目印となる建物や看板がほとんどないため、口頭での道案内が困難です。  
変わり映えしない町並みが続いています』

### (3) 道案内の難点ーランドマークが少ない

道案内をするには、道路愛称だけでなく、道路（線）上の細かい位置（点）を示す必要がある。ニュータウン内の道には、目印となるもの（ランドマーク）が限られている。

地区内主要な目印として、バス亭が12個ある。より細かい案内をするために、公園、駐在所など限られた施設の位置を利用する他、店舗、自動販売機など非固定的な要素を利用せざるを得ない。

『ランドマークとは土地上の目印。ある特定地域の景観を特徴づける目印。山や高層建築物など、視覚的に目立つもの。のことを指します。』

『若葉台愛称道路を速足で見てもらいます！ランドマークになりそうなものを探しながらご覧ください。』



『次に17番のコンビニポレールです。若葉台にある貴重なコンビニです。是非お散歩の途中によってみてはいかがでしょうか？ただ、閉店時間は夜の9時なので注意してくださいね。』

ランドマークの一例：地区内のコンビニ

道路愛称を活用しながら道案内ができる「若葉台マップ」(後ページ参照)を作成した。  
また、ランドマークについて、次のように提案する。

- 地域住民のランドマーク考案・作成イベントの実施
  - 手づくり花壇
  - 手づくり看板
  - ゆるキャラ
  - シンボルマーク
  - モニュメント
- 交差点に名称を付ける

- 道路愛称を増やす

『ランドマークの設置についてです。ここで大切なのが”地域住民と一緒に考案・作成したランドマークを設置することです。さらに、自分たちで手作り出来るものであれば参加し、設置作業等も一緒に行う。こうすることで、より多くの人に愛着を持ってもらえるのではないのでしょうか。』

#### (4) 日常的に道路愛称をもっと利用すべき

日常的な会話の中、道路愛称の使用はまだ少ないと思われます。日常的に、道路愛称を利用する工夫を次のように考えた。

- 住民運動会…マラソンなど
- スタンプラリー…MAPの活用
- とんどさん
- イルミネーション…道路ごとのイメージカラー

『次に地域イベントでの道路愛称活用についてです。とんどさんというのは行事の一つです。正月に使った道具を集めて焼くという行事です。その際、子供たちがパンツ一枚で火の灯ったわらを回しながら各家庭をまわっています。この際に「わかば中央通り組」「山の手組」とわけられればと思います。』

- お散歩を通して地域のよさを知る:「若葉台おさんぽMAP」の作成

若葉台地区には自然豊かな緑道がある上、特徴があり、魅力ある場所はたくさんある。これらの魅力的な場所を楽しみながらお散歩ができるマップを作成し、道路愛称の認知度を上げ、地域への誇りや愛着を育む。

---

## 他地域の道路愛称の取り組みについて(要約版)

貝原啓右＋斎藤一步＋石飛賢二十小椋実紗＋元田有紀＋浅井真由＋平川成吾

### (1) 道路愛称の実施主体

- 市（長岡京市、彦根市、小山市、市原市、甲府市、福岡市、大阪市多数）
- 企業・福祉等地区協議会（千里ニュータウン、広島市西区夷午地区、伊予市）
- 飲食店等店経営者（広島市佐伯区）
- 住民（鳥取市若葉台）

### (2) 実施目的

- 地域への愛着、連帯感の向上（千里ニュータウン、鳥取市若葉台）
- 道路のわかりやすさ、親しみをもたせる（長岡京市、鳥取市若葉台、彦根市、小山市、市原市、甲府市、広島市西区夷午地区、伊予市）
- まち再生（千里ニュータウン）
- まちの活性化（広島市佐伯区）

### (3) 地域性と道路愛称

- 景観づくり、季節性を表すもの（長岡京市「三色彩道」紅葉名所）
- 機能性（国交省「通り名で道案内」。例）位置番号「六本木通り#6」：道路の端から60m地点。
- 地域の歴史（神戸市、赤穂市など）
- 自然発生的、長年定着した愛称（福岡市、神戸市、赤穂市、須坂市、長岡京市）

### (4) 道路愛称づくりのプロセス

- 地域の状況に合わせ、様々なアプローチがある
  - 「愛称づくり要項」（洛西ニュータウン）、「道路愛称名事業実施要綱」（長岡京市）の策定
  - 「吹田市道路愛称づくり市民会議」（千里ニュータウン）の結成など
  - 議論、情報共有が基本
- 愛称を考えるキーポイント
  - 連想しやすい、覚え易い
  - 道の名前から場所を知る
  - 著名な施設等に由来する名称
  - 従来から地域で通称として使用されている名称
  - まちの特徴を知ることができる
  - 歴史、伝統

- 友好都市に由来する名称
- 安らぎや、憩や、美しさを感じるもの

#### (5) いろいろな参考事例

- 通り名で道案内プロジェクト（国土交通省）
- 兵庫県神戸市六甲アイランド「小磯美術館通り・向洋中央通り」。愛称のついた道路と、まちかど広場をたどる街路ウォーク・ラリーとクイズの実施
- 石川県かほく市「宇野気ふれあい通り」。ふれあい通り沿道でイルミネーションを実施、夏休み親子木工教室の開催に合わせて子供の作った木工作品をふれあい通りに展示、ライトアップ
- 新潟市西区「茶豆ふれあいライン」。黒埼南小学校の小学生達によって道路に花が飾られた
- 「アンパン道路」、「広町まなび通り」、「陽だまりロード」
- 高知県大月市「田中さんの畑」

#### 他地域の取り組みをみて、若葉台で生かせることとは？

- 手段だけでなく広める方法
- 道路愛称における地域性(地域ならではのプロセス)
- 目的をはっきりすることで広まる (以上、浅井)
- 若葉台の歴史がまだ浅い、知名度がまだ低い (小椋、元田)
- 目的の明確化：道路愛称の普及・道案内の利便化
- 道路愛称を広めるための地域に密着した取り組み→地域性を示す
  - 看板の設置
  - 地図に反映(ゼンリン住宅地図、都市計画地図、各事業所案内図、タウンページなど)
  - クイズ、ウォークラリー
  - 展示物などで装飾
  - 観光 map
  - ホームページ等 (以上、斉藤がまとめた)

#### 謝辞

若葉台地区住民、公民館の皆さんから多大なご協力をいただきました。御礼を申し上げます。



わかば中央通り

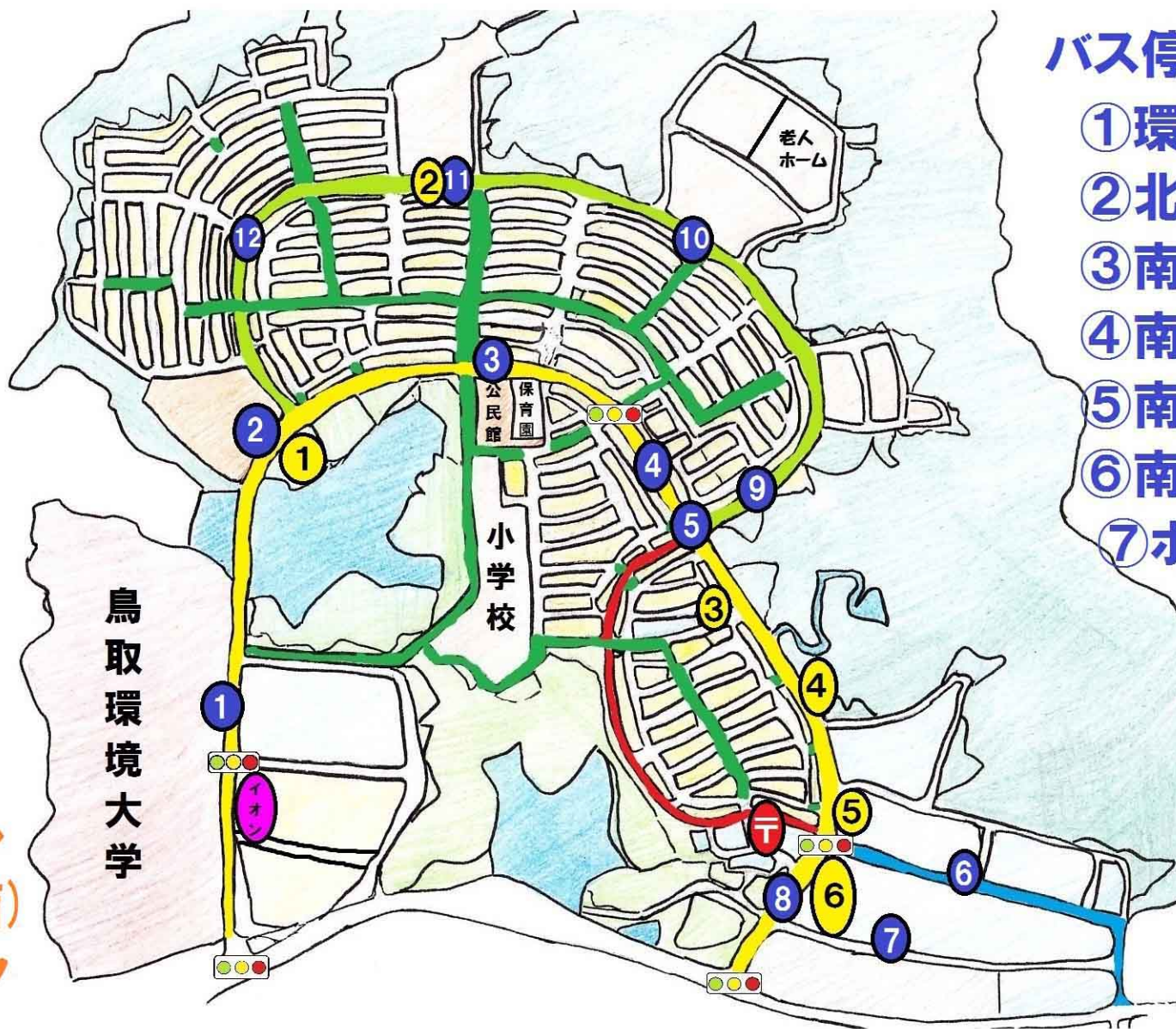
山の手通り

郵便局通り

わかば産業通り

# 若葉台 map

- ①公園
- ②自動販売機
- ③駐在所
- ④サクセス  
(リフォーム)  
SoRa (美容室)  
ミネル (英会話)
- ⑤看板 & ポレール  
(21時閉店)
- ⑥フレッシュパーク



## バス停

- ①環境大学前
- ②北五丁目
- ③南二丁目
- ④南五丁目
- ⑤南六丁目
- ⑥南七丁目
- ⑦ポリテクセンター
- ⑧南一丁目
- ⑨さくら  
会館前
- ⑩南三丁目
- ⑪北四丁目
- ⑫北三丁目

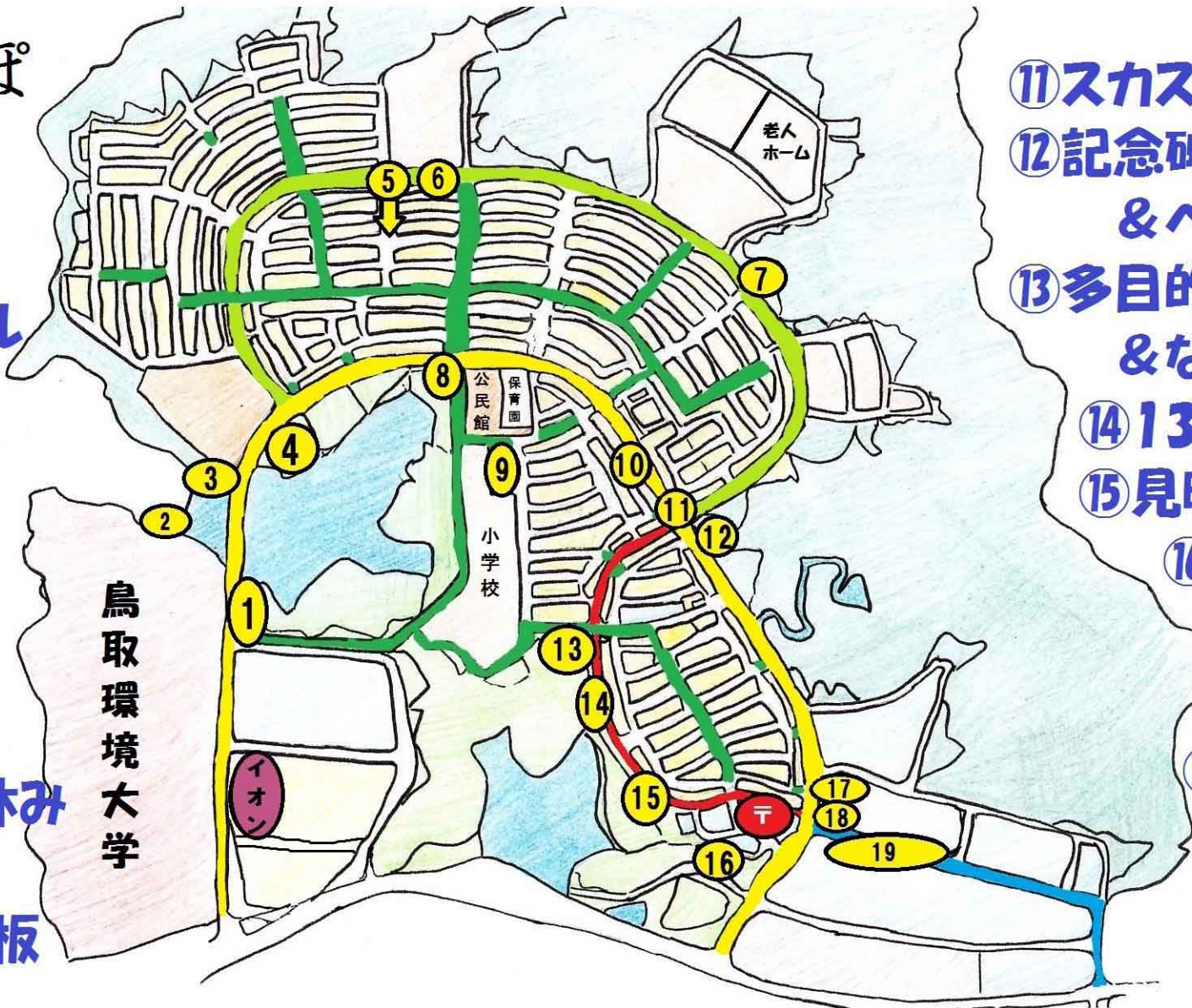
緑道



わかば中央通り
  山の手通り
  郵便局通り
  わかば産業通り

# おさんぽ map

- ①木のトンネル
- ②坂の下のホテル
- ③田舎の景色
- ④公園その1
- ⑤双子山が見える場所
- ⑥自動販売機
- ⑦アヤメの花
- ⑧ベンチでひと休み
- ⑨公園その2
- ⑩階段注意の看板



- ⑪スカスカの道路案内
- ⑫記念碑&謎の井戸? &ベンチ
- ⑬多目的広場 &なかよし号
- ⑭13時ごろ涼しい
- ⑮見晴らしgood
- ⑯太陽光風車
- ⑰ポレール (21時閉店)
- ⑱道路愛称看板
- ⑲並木道

緑道